### set

パラメータに値を割り当てます。

#### 構文

set VAR\_NAME=EXPR

**VAR\_NAME = EXPR**

式を評価した値をパラメータに割り当てます。コマンドの右辺には、クエリ開始時点でレコードなしに評価可能な任意の式を使用できます。

* 代入演算子（=）の前後に空白文字を入れても、入れなくても動作します。
* クエリ開始時点でレコードなしに評価可能な任意の式を使用できます。
* クエリパラメータは、1つのクエリインスタンスが有効な間のみ有効です。
* 複数のsetコマンドがある場合は、左から順に評価されます。

#### 説明

クエリパラメータは、1つのクエリインスタンスが有効な間のみ有効であり、setコマンドを使用してクエリ開始時点でパラメータ値を評価して設定できます。以下のクエリ文字列は、[table](https://docs.logpresso.comnull)コマンドを利用して3日前の0時から当日0時直前までのデータを動的に検索する例です。

set from = string(dateadd(now(), "day", -3), "yyyyMMdd")| set to = string(now(), "yyyyMMdd")| table from=$("from") to=$("to") sys\_cpu\_logs

上記のようにsetコマンドでクエリパラメータを設定し、[$()](https://docs.logpresso.comnull)関数を用いてクエリパラメータの値を参照できます。

各クエリコマンドのオプションは、クエリパラメータで置換することが可能です。たとえば、スケジュールされたクエリを実行する際に現在の日付を基準として1週間分のデータを検索・処理したり、プロシージャ実行時にユーザーが入力したパラメータ値を利用してクエリを実行する場合などに、クエリパラメータが活用されます。

プロシージャ呼び出し時には、プロシージャのパラメータとして渡された値がクエリパラメータとして設定されます。そのため、プロシージャを作成または編集する際、クエリ文字列にはプロシージャパラメータに該当する値が既に存在すると仮定し、[$()](https://docs.logpresso.comnull)関数で参照して利用できます。